

平成 28 年度「立正大学研究推進・地域連携センター研究支援費」研究成果報告書

1. 種目 第 2 種

2. 研究課題名 路線バス事業者および国営武蔵丘陵森林公園との連携によるバスマップの作成と応用

3. 研究代表者

| 研究代表者名 | | 所属部局名 | 職名 |
|--------|-------|-------|------|
| やまだ | じゅんいち | 地理学科 | 専任講師 |
| 山田 | 淳一 | | |

4. 連携研究者

| 連携研究者名 | | 所属部局名 | 職名 |
|--------|------|--------------|--------------------------------|
| なかじま | たかゆき | 国際十王交通株式会社 | 営業部係長 |
| 中島 | 隆行 | | |
| かわべ | まさる | 川越観光自動車株式会社 | 総務部主任 |
| 川邊 | 勝 | | |
| みやね | みつたか | 国土交通省関東地方整備局 | 国営昭和記念公園事務所国営武蔵丘陵森林公園出張所管理第一係長 |
| 宮根 | 光隆 | | |
| | | | |
| | | | |

5. 研究実績の概要

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、申請書に記載した「研究目的」、「研究計画・方法」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述して下さい。

本研究では、前年度の成果の一つであるバスマップ『森林公園おでかけガイド』発行後に、一般市民や事業者を対象とした同バスマップへの評価を、アンケート調査により明らかにした。

一般市民対象のアンケートでは、バスマップ自体には概ね高評価が得られた。掲載情報の評価が高かった一方、情報量の多さによる見にくさ、文字・紙サイズの改善を求める声が多数みられた。事業者へのアンケートは、森林公園、川越観光自動車、国際十王交通の乗務員や職員を対象に行った。乗り方の案内が良かった、利用者への対応がしやすくなった、利用者目線では使いづらい、主題がわかりにくいといった意見がみられた。この他、再配布や、ターゲットを絞ったら良いのではといった要望も頂いた。森林公園からの評価としては、路線バス運行ルートと公園との位置関係が理解でき、利用者に案内がしやすくなったという意見や、もっと利用者が見やすいデザインや文字サイズにした方が良いという意見があった。

地図内の情報を熟知している案内者にとっては利用しやすいが、初見の利用者にとっては情報量が多すぎて使い勝手が悪いとの意見もあった。一方、情報量の多い点を長所として挙げる意見も多く、全体としては高評価であった。

以上の結果を反映させた『森林公園おでかけガイド』第2版を5月に発行するとともに、前年度明らかにした熊谷周辺地域のバスマップ需要を基に、学生有志と『熊谷市周辺バスマップ』初版を作成して発行した（路線改廃のため平成29年4月に発行）。

さらに、これらのバスマップの発行を契機に国際十王交通の協力を得て、モビリティマネジメントへの応用として、学生が大学周辺地域のバス交通や交通事業者に関する調査を行った。その成果は、国際十王交通と連携して新たに立ち上げた「国際十王バスフェスタ2016」において一般市民向けに発表し、併せて「国際十王フォトコンテスト2016」を開始した（平成28年11月）。

6. 研究発表（平成 28 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ 0 ）件 うち査読付論文 計（ ）件

| 著者名 | 論文標題 | | | |
|-----|-------|---|-----|---------|
| | | | | |
| 雑誌名 | 査読の有無 | 巻 | 発行年 | 最初と最後の頁 |
| | | | | |

| 著者名 | 論文標題 | | | |
|-----|-------|---|-----|---------|
| | | | | |
| 雑誌名 | 査読の有無 | 巻 | 発行年 | 最初と最後の頁 |
| | | | | |

| 著者名 | 論文標題 | | | |
|-----|-------|---|-----|---------|
| | | | | |
| 雑誌名 | 査読の有無 | 巻 | 発行年 | 最初と最後の頁 |
| | | | | |

〔学会発表〕 計（ 1 ）件 うち招待講演 計（ 0 ）件

| 発表者名 | 発表標題 | |
|-------------------------------|---------------------------------|-------------|
| 山田淳一・郷原裕生・稲葉裕哉・山田旭仁・永西修也・岩谷恭弥 | 国営武蔵丘陵森林公園へのアクセスにおけるバスマップの作成と評価 | |
| 学会等名 | 発表年月日 | 発表場所 |
| 立正地理学会第71回研究発表大会 | 2016年6月4日（土） | 立正大学熊谷キャンパス |

〔図書〕 計（ 0 ）件

| 著者名 | 出版社 | |
|-----|-----|-------|
| | | |
| 書名 | 発行年 | 総ページ数 |
| | | |

研究補助を受けた方は、「研究成果報告書」を提出していただき、ホームページ等で研究成果を公開いたします。研究成果が公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由

| |
|--|
| |
|--|